

株式会社SPACE WALKER 代表取締役CEO
眞鍋 顕秀

宇宙開発によるものづくり産業の振興と 脱炭素社会の実現

脱炭素社会のエネルギーとして注目される水素を、
宇宙船の開発技術で課題を克服し、
世界をリードする MADE IN JAPAN の発展に取り組む。

私たち株式会社SPACE WALKERは、
誰もが飛行機に乗るように自由に地球と宇宙を往来する
未来を目指し、持続可能な宇宙輸送手段を提供するために、
有翼式再使用型ロケット（サブオービタルスペースプレーン）の
研究・開発を行っている東京理科大学発ベンチャーです。

いまやカーボンニュートラルや脱炭素化社会の実現は、
どのような企業も無関係ではない時代となった中で、当社の
主軸事業である宇宙開発にて培われた当社技術を、陸・海・空含む
すべての物理領域における脱炭素化への取り組みとして
貢献できるよう、尽力いたします。

SPACE WALKER



カーボンニュートラルへの挑戦を通じて環境への貢献と自社の成長を実現

- サステナブル宇宙開発宣言をし、サブオービタルスペースプレーンにおいて、ECO ROCKET®と定義し、再使用且つクリーン燃料を使用することを前提に2020年代での開発を推進します。
- 気候危機とまで言われている地球環境に対し、カーボンニュートラルや脱炭素化社会実現に向け、宇宙開発にて培われた技術を地球の脱炭素化社会実現のために活かしていきます。
- 当社が持つ世界トップレベルの軽量な複合材容器を活用し、陸海空にまたがる脱炭素社会に向けた水素サプライチェーン・プラットフォームの構築を実現すべく、自治体やエネルギー関連企業との連携を進めていきます。



SPACE WALKER

持続可能な宇宙と地球を 未来に繋げるために。

私たち人類は、持続可能な宇宙を必要としています。
しかし、その宇宙は、決して、環境を犠牲にして手に入れられるものではありません。

持続可能な宇宙のためには「地球と宇宙、両方の環境を守る」という視点の技術が必要でした。
その課題一つひとつに向き合い、人類の夢の大きな一歩として結集したのがこの「ECO ROCKET」です。

地球に優しい宇宙開発に向けて、化石燃料や有毒燃料ではなくバイオ燃料を使用。
ロケットを飛行機並みの日常的なモビリティにするために、機体を小型化し、種類まで再使用。
さらに、宇宙ゴミを発生させず、美しい宇宙を維持するために、発射したままの姿で地球に帰還できる誘導制御システムを開発。
これらの技術が、地球と宇宙、両方の環境保全を実現します。

私たちは「ECO ROCKET」とともに、持続可能な宇宙開発を新たなステージへ導きます。

CLEAN FUEL
CARBON NEUTRAL
SUSTAINABLE
DGA
LIVESTOCK
REUSE

ECO ROCKET

